

平成22年8月5日
事務連絡

都道府県
各 指定都市 保育主管課長 殿
中核市

厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 保育課長

国立感染症研究所感染症情報センターが開発した
「保育園サーベイランス」について（情報提供）

今般、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて、「保育園欠席者・発症者情報収集システム（保育園サーベイランス）」が開発されました。

本システムを活用することにより、保育所及び市区町村等での感染症等の発生状況の早期把握・早期対応に有用と考えられることから、貴職におかれましては、ご活用を検討いただくとともに、管内市区町村及び保育所関係者に広く周知を図るなど、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、別添として、国立感染症研究所感染症情報センターから、貴職及び保育所関係者宛の文章を添付しているのので、周知等に当たり、ご活用ください。

また、本件に関するご質問等については、別添文章にある国立感染症研究所感染症情報センターに直接お問い合わせください。

厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 保育課
担当：森田、田上

平成22年8月5日

各都道府県・指定都市・中核市 保育主管課長 殿

国立感染症研究所感染症情報センター
センター長 岡部信彦

保育園サーベイランスの説明と活用についてのご協力をお願い

国立感染症研究所感染症情報センターでは、既に「学校欠席者サーベイランスシステム」を構築し、全国の約2割の学校施設において活用していただいておりますが、この度新たに「保育園の欠席者・登園児発症者のサーベイランスシステム」を開発しました。

本システムは、保育施設において、感染症の発生状況を早期に探知・共有し、健康被害の発生を最小限にすることを最大の目的としております。本システムは地域単位で活用いただくことにより最も効果が発揮されるものです。貴課におかれましては、開発の主旨をご理解いただき、管内市区町村における普及・活用にご協力いただきますようお願いいたします。

記

市区町村における利点と効果：

- ① 管内保育施設の欠席者・発症者の正確な状況をリアルタイムに把握することが可能であり、表、グラフ、地図で確認できる。
- ② 管内の感染症発生状況と他地域の状況と比較することができる。
- ③ 事前登録することにより、保健所、園医、医師会等と自動的に情報が共有され、感染症発生早期の対応が可能である。
- ④ 感染症に関する月報が自動的に作成され、保育施設から改めて書類で報告する必要はない。また、保育課で作成する感染症に関する保健統計の月報、年報等の情報が自動集計され書類作成される。

費用負担	: 自治体、保育園の費用負担は発生しない
保育園での入力時間	: 概ね5分程度（市区町村での入力は必要なし）
デモ版	: https://school.953862.net/demo/demo/ ログインID: 11223 パスワード: 11223
マニュアル	: デモ版に掲載
申し込み・問い合わせ	: 下記連絡先に各市区町村よりご連絡ください。なお、都道府県も登録は可能です。

連絡先

国立感染症研究所感染症情報センター
安井良則、大日康史、菅原民枝
電話 03-5285-1111(内線 2057、2056)
FAX 03-5285-1129
E-mail hoiku@nih.go.jp

平成22年8月5日

保育所(園)長 殿

国立感染症研究所感染症情報センター
センター長 岡部信彦

保育園サーベイランスの説明と活用についてのお願い

国立感染症研究所感染症情報センターでは、「保育園の欠席者・登園児発症者のサーベイランスシステム」を開発しました。本システムは、日常的に様々な感染症が発生している保育施設において、その発生状況を早期に探知・共有し、子ども達の健康被害の発生を最小限にすることを最大の目的としております。貴施設におかれましては、開発の主旨をご理解いただき、ご活用いただきますようお願いいたします。

記

利点と効果:①保育所(園)内の日々の欠席者・発症者の状況を、表、グラフ、地図で確認できる。

②地域内の感染症による欠席者・発症者の状況を、表、グラフ、地図で確認でき、地域内の様々な感染症の流行状況を察知し、対応することが可能である。

③保健所、園医、医師会と自動的に情報が共有され、感染症発生早期の対応が可能である。

④感染症に関する月報が自動的に作成され、改めて書類で報告する必要はない。

費用負担 : 保育所(園)の費用負担は発生しない

入力時間 : 概ね5分程度

デモ版 : <https://school.953862.net/demo/demo/>
ログインID: 11223 パスワード: 11223

マニュアル : デモ版に掲載

申し込み : 施設所在地、名称、ご担当者名を (hoiku@nih.go.jp)

まで連絡

問い合わせ : 各保育所(園)より直接下記連絡先にご連絡ください

連絡先

国立感染症研究所感染症情報センター

安井良則、大日康史、菅原民枝

電話 03-5285-1111(内線 2057、2056)

FAX 03-5285-1129

E-mail hoiku@nih.go.jp

保育園サーベイランス導入の効果に関して

国立感染症研究所感染症情報センター

国立感染症研究所感染症情報センターでは、以前より学校欠席者サーベイランスシステムを開発し、既に全国の17都県（全域導入10、一部地域導入7）で導入使用されている。2010年4月には保育園欠席者・発症者情報収集システム（保育園サーベイランス）が新たに開発された。本システムが広く全国の保育施設に導入・活用されることが望まれるが、以下に導入された場合の効果・有用性について列挙し、広く関係者に周知するための資料とするものである。

1. 本システムは導入費用が無料であり、ソフトウェアのインストールも必要なく、パソコンとインターネット環境さえあれば導入が可能である。
2. 各保育園の日々の感染症発生状況の記録をデータ入力すること（入力時間は5～10分/日）により、保育園ごとの様々な感染症発生状況の詳細なデータ解析、グラフ作成が可能である。
3. 地域で導入することにより、中学校区単位での感染症の発生・流行状況の迅速な把握が可能である。
4. 感染症の発生・流行状況をリアルタイムで園医、医師会、保育課、保健所等の関係者間で情報共有し、それによって早期に準備・対策を行う事が出来る。
5. 地域及び園内の感染症の発生・流行状況の詳細を職員や保護者間で共有することが可能であり、園内で正しい最新の情報に基づいた感染症対策が実行可能である。
6. 特にインフルエンザ、ノロウイルス感染症、流行性耳下腺炎、水痘、麻疹等の保育園で蔓延する可能性が高く、また地域でも広域に流行する感染症の対策にとって、本システムは極めて有用であると考えられる。
7. 今後の新型インフルエンザの流行に対し、その地域内での流行をいち早く察知し、園内での発生状況を正確に把握し、対策を実施して健康被害の発生を最小限に食い止めるためには本システムが早期に導入・活用されることが望まれる。

問い合わせ先
安井、大日、菅原
TEL : 03-5285-1111
E-mail : hoiku@nih.go.jp